

令和4年度 リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議
会議録

日 時：令和4年4月28日（木）15時～16時

会 場：奈良市役所 中央棟6階 正庁

出席者

【会 長】

奈良市長	仲川 げん
------	-------

【副会長】

公益社団法人奈良市観光協会	会長 乾 昌弘
奈良商工会議所	副会頭 植田 良壽

【会員】

春日大社	参事 森 誠康
一般財団法人春日若宮おん祭り保存会	会長 植田 良壽
元興寺	公益財団法人元興寺文化財研究所 事務局長 江島 和哉
興福寺	庶務室長 中元 裕行
西大寺	執事長 辻村 泰範
唐招提寺	録事 山蔭 誠悟
東大寺	華嚴宗庶務部長・東大寺庶務執事 上野 周真
奈良観光物産協会	会長 藤井 保成
奈良観光物産製造卸組合	会長 前田 武
奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部	支部長 下谷 幸司
奈良市自治連合会	副会長 金野 秀一
一般社団法人奈良青年会議所	理事長 佐藤 伊左男・事務局長 堀田 英一
奈良大文字保存会	会長 植田 良壽

【顧問】

衆議院議員 小林 茂樹	秘書 岩見 祥志
衆議院議員 前川 清成	秘書 中川 崇
衆議院議員 馬淵 澄夫	秘書 森田 浩行
奈良県議会議員 植村 佳史	
奈良県議会議員 階戸 幸一	
奈良県議会議員 田尻 匠	
奈良県議会議員 疋田 進一	
奈良市議会副議長 山本 憲宥	
奈良市議会観光文教委員会委員長 九里 雄二	
奈良市議会観光文教委員会副委員長 佐野 和則	

【事務局】

観光経済部	部長 仲西 範嘉
観光経済部	次長 栗山 稔
観光経済部観光戦略課	課長 上南 善嗣
観光経済部観光戦略課職員	

令和4年度 リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議

日時：令和4年4月28日（木）

15時～16時

会場：奈良市役所

中央棟6階 正庁

次 第

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 令和3年度 活動報告

(2) 令和4年度の活動について

(3) リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議決議

4 閉 会

(以下、議事内容)

1. 開会

【司会】

ただいまより「令和4年度リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議」を開催いたします。この会議は、奈良市情報公開条例第29条の規定に基づき、公開いたします。また、後日、会議録を作成しますので録音や写真撮影など、ご了承くださいますようお願い申し上げます。会議内容などにつきましては、ホームページ等でも公開いたします。なお、本日の傍聴の申し出はありませんでしたので、ご報告させていただきます。本日は会員16名、顧問10名にご出席いただいております。次にリニア中央新幹線奈良駅設置推進会議の会長であります、仲川げん奈良市長からご挨拶させていただきます。仲川会長よろしく申し上げます。

2. 会長挨拶

【会長：奈良市長 仲川 げん】

本日はお忙しい中ご出席いただき誠にありがとうございます。また日頃から、奈良市におけるリニア新駅誘致活動に会員及び顧問としてご協力いただき、改めて感謝申し上げます。さて、リニア中央新幹線におきましては、全国新幹線鉄道整備法に基づく1973年の基本計画及び2011年の整備計画で、いずれも「奈良市附近」ということが明記されていることはご存じのとおりでございます。一方、事業期間の前倒しであったり、また県内でもさまざまな動きがあったり、近年では静岡工区の問題で、特に大井川への水資源への影響等による様々な工程の遅れなど、リニア整備に伴う様々な環境の変化、状況の変化というものがございます。そのような状況におきまして、我々といたしましては計画にあるとおり「奈良市附近駅」というものをより確かなものにしていくということ、そして、リニアが奈良の社会、経済の発展に大きく寄与するというのを皆様方とともに駅設置実現に向け、取り組んでいきたいと考えております。皆様方からのそれぞれのお立場でのご意見を頂戴できればありがたいと思っております。引き続き皆様方のご協力をお願い申し上げます、開会にあたりましてのご挨拶といたします。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

【司会】

仲川会長ありがとうございました。それでは、お手元の次第に沿って進めさせていただきますと思います。ここからの議事の進行は、仲川会長にお願いいたします。

3. (1) 令和3年度 活動報告

【会長：奈良市長 仲川 げん】

それでは、進行をさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。

まず初めに、令和3年度活動について報告をさせていただきたいと思えます。

これにつきましては、会長報告ということで、私から令和3年度の要望活動について報告させていただきます。

昨年12月21日に植田副会長、乾副会長とともに県へ伺い、令和3年度リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議で採択されました決議及び要望書を奈良県知事、奈良県議会議長へ提出させていただきました。その中で改めて奈良市内へのリニア中間駅設置実現に向けた要望を行った次第でございます。

一方、知事の方からは、大阪までの開業予定が概ね15年後に迫ってきている状況において、まずは奈良県内への中間駅設置を確かなものにするに大きな意義があるのではないかというお話をいただきました。私といたしましても、その思いについては同じ思いを持っているということから、県の事務局とも様々な調整をした中で、やはり奈良県全体の発展を考え、まずは奈良県内の中間駅設置に対して一致団結して取り組むことが大事であるという認識のもと、大和郡山市長とも調整をした中で、本年2月18日に「リニア中央新幹線『奈良市附近駅』の設置に関する要望書」を本市と大和郡山市共同で荒井知事に対して提出したということになります。

中間駅が県内のどの場所になるのかということについては、引き続き大きな関心事であると考えています。一方で、最終的な駅位置を決定されるのは事業主体であるJR東海であるということもあります。

我々といたしましては、まずは計画にも明記されている『奈良市附近駅』というこの文言をしっかりと実現し、奈良県内に中間駅を設置するということを確かなものにするということを求めていきたいと考えています。これが要望活動の報告となります。

続きまして、議事の(2)令和4年度の活動については、事務局から説明をさせていただきます。

3. (2) 令和4年度の活動について

【事務局】

事務局より令和4年度の活動についてご説明させていただきます。

市民へのPR活動について、現在市内14カ所にリニア中間駅誘致の看板や横断幕を掲出しております。古いものでは平成26年に作成したものもあり、一部文字やデザインが見えづらい状態になっているため、今年度にリニューアルを検討しております。

その他の取組といたしましては、平成25年度より毎月しみんだよりにてリニアに関する記事を掲載しており、今年度も継続する予定です。掲載内容といたしましては、要望活動など市の最新の誘致活動状況やリニアコラムとして、改めてリニアとはどういったものなのか、東京一大阪間が開通したら奈良市へどのような影響があるのか等リニアに関する情報をクイズ等を織り交ぜながら発信しております。令和4年度も市の誘致活動における最新情報に加え、市民の皆さんにより楽しくリニアのことを知って頂ける記事を掲載しPRしていき

いと考えています。

今後のスケジュール予定についてご説明させていただきます。

例年6月頃に、リニア中央新幹線建設促進期成同盟会が東京で行われております。こちらの同盟会は東京都、神奈川県、山梨県、長野県、岐阜県、愛知県、三重県、奈良県、大阪府の沿線9府県で構成されている同盟会になります。

続きまして、開催時期は調整中ですが、リニア中央新幹線建設促進奈良県期成同盟会が行われる予定となっております。この同盟会は奈良県、奈良県議会、県内市町村、商工会議所等経済関係団体で構成されている同盟会になります。また、開催時期は調整中ですが、三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進大会ですが、こちらは三重県、奈良県、大阪府の自治体と経済団体が出席する大会となっております。

その他の活動につきましては、必要に応じて行っていきたいと思います。

以上が令和4年度の活動予定となります。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

それでは、令和3年度の活動報告及び令和4年度の活動について報告させていただきましたが、皆様よりご意見を頂戴していきたいと思います。

【奈良県議会議員 階戸 幸一】

令和3年度の活動報告について、奈良市と大和郡山市が共同で要望されたということで、生駒市に対しては共同の要望の経緯を伝えられなかった理由などがあるのであれば教えていただきたい。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

県内では生駒市も含めて3市が中間駅の提案をしているという状況ですので、県内の候補地自治体すべてが連携をして要望する形になっていないということについてはどういう経緯かということをございます。

この件については、私と副会長が県庁を訪問した際に、ぜひ奈良市も大和郡山市もまずは県内への中間駅誘致を確実なものにするように協力をしてはどうかというお話がありました。その後、生駒市へは私から情報提供をさせていただき、こういった状況ではあるけれども、もしよければ一緒にやりませんかというご提案はさせていただいています。

それぞれお考えがあるかとは思いますが、現段階においては合同での要望については参加をされないというお考えであると伺っております。

ただ、今後どのような対応をされるのかということについては、否定的ではないと思いますので、奈良市の立場としては、県内の候補地として提案している自治体がどうも奈良県内で綱引き合戦をして揉めているという印象がJR東海へ伝わることは良くないのではないかとご意見もありましたので、それぞれの立場がありながらも奈良県内への駅設置に向けて、生駒市も含めてぜひ連携を図って進めていきたいと考えています。

【奈良県議会議員 植村 佳史】

令和3年度の活動報告におきまして、奈良市と大和郡山市による共同要望は非常に良かったなと喜んでいらっしゃるのですが、気になるのは京都の動き。京都の議員と話をすることもあるが、やはりまだまだあきらめていないと聞いている。やはり、京都の方が経済効果が高いのではないかということをおっしゃっている。会長は京都の動きについてどのようにとらえているのか教えていただきたい。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

基本的には京都市が中心となった動きかと思いますが、奈良も同じですが、コロナ禍ということもあり、あまり目立った動きはされていないかと思えます。

引き続き、リニア中央新幹線の誘致及び北陸新幹線の円滑な整備推進ということでは予算を取られているということですので、目立った動きもあれば、それ以外の部分も含め、植村議員がおっしゃったように引き続き、取組を推進して来られるように感じております。そういった意味でも、まずは奈良県内への駅設置を確実なものにしていくということをそろそろ決めていかないといけないタイミングでありますので、より重要な段階に差し掛かっているという認識を持っております。

【奈良県議会議員 田尻 匠】

リニアの中間駅を含めて要望は県知事にされているということは存じ上げておりますが、例えば JR 東海など直接の要望は今日までされたのか、あるいは、される予定があるのかお伺いしたい。

また、私の知る限りでは JR 東海が奈良県内で数カ所のポイントを絞って地質調査を行っていると聞いている。その地質調査のポイントと結果、状況について、奈良市は把握されているのかどうか伺いたい。JR 東海の社員の方が、数回にわたり奈良県入りをされていると聞く。

リニアを進めていく中で、懸念に思っているのは、奈良県内に JR 東海の拠点がないところ。その拠点なども含め JR 東海は活動、行動に出られていると思いますが、そのような情報をキャッチされているのかどうか、非公式で行われているのかそのあたりについて情報を得ているようであれば教えていただきたい。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

JR 東海の非公式な行動は私も把握しきれない部分がございますが、これまでも、国、JR 東海へ要望書を提出しております。ここしばらくの間は直接要望書をお持ちすることが難しい状況ではありますが、国に対して定期的に情報を更新していくという意味でも陳情を重ねております。

事務局の方で追加的に把握している情報があれば補足を申し上げます。

【事務局】

今ご質問ありました件につきましては、奈良市内の方で地質調査をされたということは伺っておりますが、その他の地点について、把握はしていないという状況です。

【奈良県議会議員 田尻 匠】

調査はすでに終わっているということですが、その内容については発表しないというような話ですので、その分関心度は高い。その辺は注目していかなければいけないと思います。奈良県知事と一緒に国交省鉄道局長へ何度か要望・陳情に上がりましたが、その時に知事が「名古屋から大阪に向けてのリニアの工事を進めていくという考え方が順当かもしれないが、それはあくまでも一方的な考え方であって、大阪から工事を始める、西からスタートする。シールド工法であれば両サイドから工事が行われますが、そういうふうにするのも考えてもらえないか」という発想を鉄道局長に話すと、それもいい案であるということで検討しておきますと、このようにおっしゃっておられた。そのことも含めて、また要望を進めていきたい。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

静岡の件で今後のスケジュールに影響を与えると懸念されていますが、私も静岡が動かないのであれば西から進めてはどうかとの意見も各場面であると聞いています。もちろん最終決定は JR 東海ということになりますが、やはり事業を進めるにあたって一番重要なものは地域の自治体及びそこにお住いの住民の皆さんのご理解だと思えます。そういった意味では一日も早く奈良はいつでも工事が進められますよという環境を用意しておくということは、ある意味でプレッシャーにもなっていくのかなとも思えます。

そういった情報を引き続きしっかりと収集していきます。

【奈良市自治連合会 副会長 金野 秀一】

自治連合会の方から質問させていただきます。

今、令和3年度の報告及び令和4年度の活動予定がありましたが、私もこの会合に参加させていただき、持ち帰って自治連合会の定例会などで報告をさせていただいておりますが、できれば、市側から連合会の定例会へ報告をいただけたらと思います。住民の方々へも連絡ができると考えております。

従来から、連合会長さんから様々なお話を聞く限りでは、もうひとつリニアに対しての関心が弱いように思います。毎月、しみんだよりに連載をしていただいているようですが、盛り上げていかなければいけないと思いますので、適宜連合会の方でも進捗状況の報告をいただければと思います。

それから、もう一つ、これは要望ですが、新幹線やリニアなど、子供を交えたイベントを計画・実施されていたように記憶しております。市民の盛り上がりという点もと言われますし、やはり子供たちの未来のためですので、夏休みなどに盛り込んでもらえればと思います。リニアに関心を持ってもらえるようなイベントを企画してもらえたらなと思います。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

まず1点目について、自治連合会の皆様への定期的な進捗報告は、市民の皆さんの機運を醸成する点で大変重要だと思っております。ぜひ、定例会では本日の会議の報告を申し上げたいと思っております。

子供たちに対する啓発については、これまでも、様々な方法でリニア世代に情報提供をしてきておりますが、コロナ禍ということ言い訳にははいけません、行事の実施が難しく、そういった啓発が止まってしまっているという状況です。

これは、コロナの状況も見ながら、年間計画の中では随時、工夫をして実現していきたいと思っております。貴重なご意見ありがとうございます。

【奈良市自治連合会 副会長 金野 秀一】

ぜひ、よろしくをお願いします。

【奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部 支部長 下谷 幸司】

みなさんご存じだと思いますが、奈良市で観光に来ていただいている中で宿泊者が市外に泊まられているという難点があります。やはり京都には新幹線の駅があり、奈良にはないというところが非常に大きいと思います。

事業の方も一生懸命やっただいただいていると思いますが、財界の方や市民の方々などが固まって奈良市附近にリニア新幹線を誘致したいという気持ちをもっと JR 東海に示すべきだと思っております。

あと15年ほどでリニア新幹線が奈良に停まるかどうかというところまで来ておりますので、後世のことを考えましたら、もう少しなんとか盛り上げていって、どうしても奈良にリニア新幹線の駅をつくるということを死守していく気持ちが表れたらと思います。そういうことには私たち旅館ホテルや観光事業者も、一丸となって頑張っていきたいと思っておりますので、ぜひともよろしくお願いたします。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

当初、2045年と言われていた大阪までの開通が、最大8年前倒しになり、2037年大阪開通予定となっております。静岡の問題がどう影響するかですが、基本的には駅ルートの詳細と駅位置の決定のための環境影響評価については工事から遡ること4年手前からスタートしなければならないと聞いていますので、2037年を前提とすれば2023年頃から環境影響評価を4年間実施し、その後に工事をしていく流れになるのかと思います。半世紀近い長きに渡っての大プロジェクトですが、まさにこれからの数年間勝負時だと思っております。その中で市民・県民の皆様機運を醸成すること、特に受入環境をしっかりとつくるのが大切であり、このあたりは観光協会さん商工会議さん含めしっかりと機運醸成に取り組んでいきたいと思っております。

副会長何かあればお願いします。

【奈良市観光協会 会長 乾 昌弘】

ありがとうございます。下谷氏からご指摘ありましたように、奈良市のひとつの課題である「宿泊者が少ない」「消費単価が少ない」ということをリニアの駅を誘致することによって解決する方向になるのではないかと考えています。この推進会議のみならず、その他団体も力を合わせて誘致に取り組んでいくように観光協会としても取り組んで参りたいと思います。

【奈良商工会議所 副会頭 植田 良壽】

本日はありがとうございます。

只今、下谷氏からありましたが、『奈良市附近』というのを理解していただく。その後に醸成をしていくというのが話としてはいいのではないかと考えています。ただ、『奈良市附近』への誘致をどういうふうに進めるかということをもまず決めながら行ったほうがいいのではないかと考えています。全線開通まで15年先と考えているようですが、団体を含めてどのような形で取り組めばよいかを話し合っただけで進めていくことがいいかと思っています。

【奈良県旅館・ホテル生活衛生同業組合奈良支部 支部長 下谷 幸司】

観光業界も一緒に誘致に携わっていきたく思います。よろしく申し上げます。

【会長：奈良市長 仲川 げん】

ありがとうございます。

また周知に対してどのような方法がよいか、皆さまからご提案などいただけたら有難いと思います。

つづきましてリニア中央新幹線の決議です。事務局から説明をお願いします。

3. (3) リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議決議

【事務局】

お手元の決議案の資料をご覧ください

決 議 (案)

リニア中央新幹線は、日本の三大都市圏を約一時間で結び、巨大経済圏「スーパー・メガリージョン」を形成する、我が国の将来にとっても極めて重要な国家的プロジェクトであり、そのプロジェクトを加速するため、総額3兆円の財政投融资が活用されている。

沿線3府県及び経済団体においては、令和3年12月に「令和3年度三重・奈良・大阪リニア中央新幹線建設促進に関する決議文」が取りまとめられ、ルート及び駅位置の早期確定と早期全線開業の実現が決議された。

これらの動向に関し我々は、全国新幹線鉄道整備法に基づく基本計画及び整備計画における主要な経過地として「奈良市附近」と明記されていることから、奈良県全域のさらなる発展のため

め、リニア中央新幹線の早期全線開業及び「奈良市附近駅」の県内設置の実現のため、引き続き官民一体となり強力な運動を展開するとともに、関係機関に対し、下記について早急に適切な措置を講じられるよう要望する。

記

1 国土強靱化、地方創生回廊の実現に向け、より一層早期にリニア中央新幹線の東京・大阪間の全線開業を行うこと。

2 大規模災害等発生時のリスク分散化のため、東海道新幹線のリダンダンシー機能を備える「奈良市附近駅」を経由するルートを早期確定すること。

以上決議する。

令和4年4月28日

リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議会長
奈良市長 仲川 げん

【会長：奈良市長 仲川 げん】

只今決議の案を事務局から説明させて頂きました。

決議（案）につきまして、皆様のほうからご意見・ご質問等ございますでしょうか。

特にご異論ないようでしたら、原案をもって決議とさせていただければと存じますがよろしいでしょうか。

では、特にご意見ないとお見受けしましたので、本案をもちまして決議として採択させていただきます。ありがとうございました。

（決議の（案）を削除）

4. 閉会

【会長：奈良市長 仲川 げん】

本日の議事は以上となります。

その他、皆様よりご意見ご質問等ございましたら、この際にお願ひしたいと思っておりますが何かございますでしょうか。

ご意見等無いようですので事務局にお返し致します。

【事務局】

ありがとうございました。

以上をもちまして、令和4年度奈良市リニア中央新幹線奈良駅設置推進会議を終了させていただきます。皆様本日はお忙しい中、ありがとうございました。